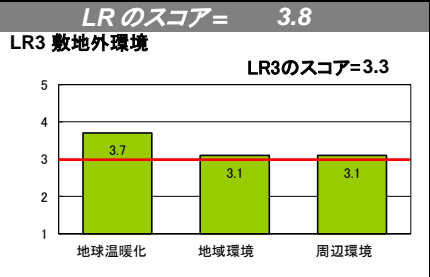
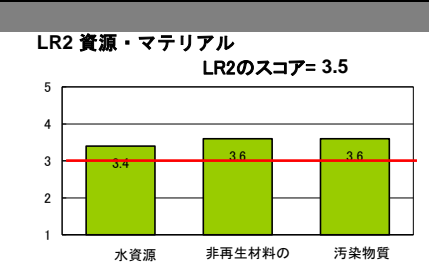
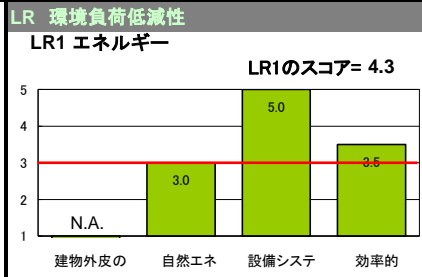
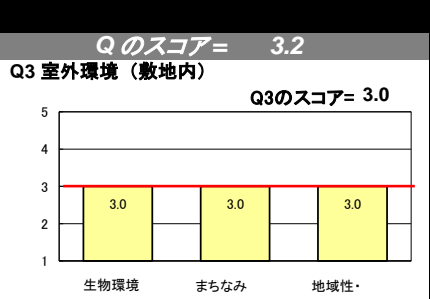
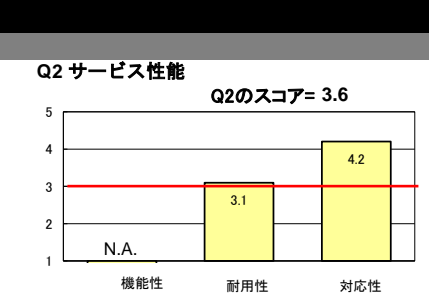
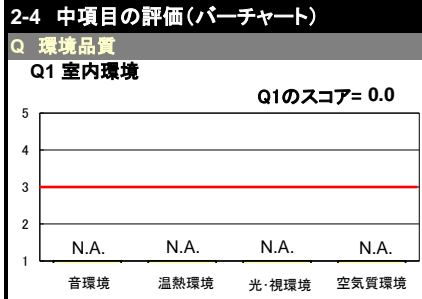
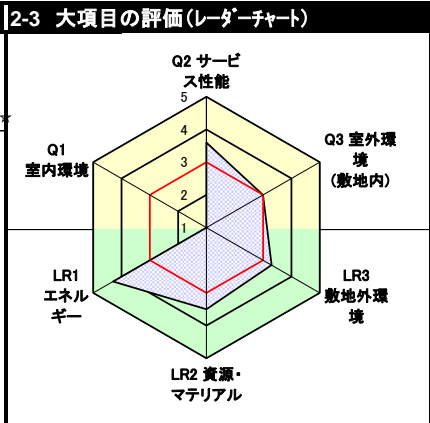
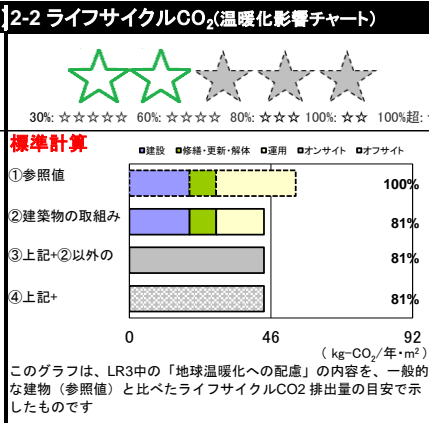
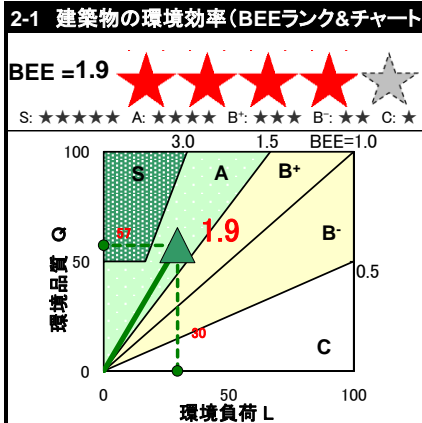
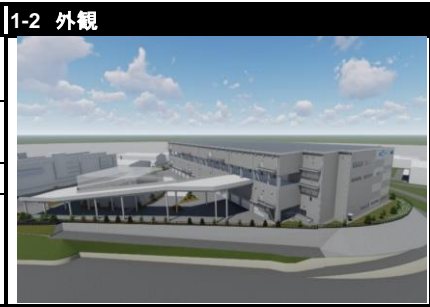


1-1 建物概要

建物名称	(仮称)綾瀬物流施設計画
建設地	神奈川県綾瀬市小園字下原720-1他
用途地域	工業専用地域
地域区分	6地域
建物用途	工場
竣工年	2022年6月 予定
敷地面積	25,605 m ²
建築面積	16,637 m ²
延床面積	58,357 m ²

階数	地上4階
構造	S造
平均居住人員	300 人
年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2020年1月13日
作成者	(株)銭高組一級建築士事務所
確認日	2020年1月13日
確認者	(株)銭高組一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項

総合

工事中の東名高速道路の綾瀬スマートインターチェンジに隣接、県道42号沿い、海老名駅の南東約2.5kmに位置している工業専用地域に、綾瀬市開発行為に関する指導要綱に基づき物流倉庫を計画した。

Q1 室内環境

該当なし。

LR1 エネルギー

LED照明設備を採用した。

Q2 サービス性能

将来の用途変更などを考慮し、階高、空間の形状・自由さ及び建物の積載荷重について、ゆとりのある設計とした。また、内装仕上材及び空調・給排水配管は、耐用年数の長い部材・部品を選択した。

LR2 資源・マテリアル

節水コマ及び自動水栓等に加えて節水型便器を採用し水資源保護対策とした。また仕上げ材に有害物質を含まない材料を使用し、環境負荷削減を図った。

その他

0

Q3 室外環境(敷地内)

敷地外周部に低木・中高木を配置し高さ方向に段階を与えることで、建築物による圧迫感を軽減させる計画とした。歩行者が身近に感じる県道側、エントランス付近は季節の移ろいを感じる植栽を選定した。

LR3 敷地外環境

ライフサイクルCO₂の排出量=81%とした。燃焼機器の不採用にて、大気汚染防止対策とした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される